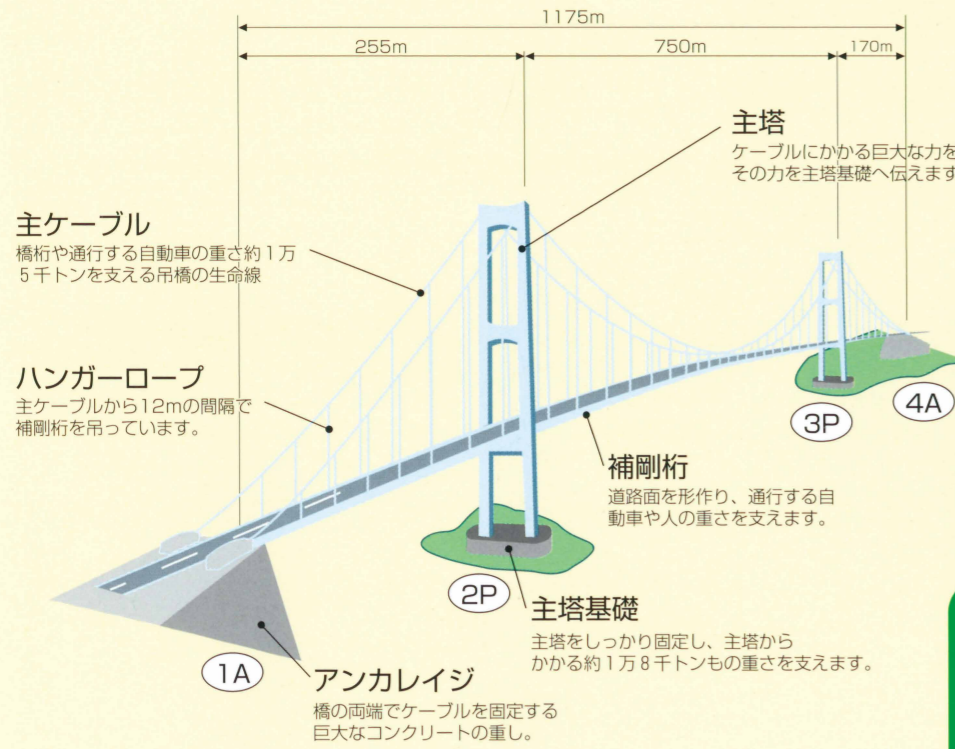




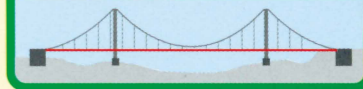
安芸灘大橋が出来るまで



安芸灘大橋の概要

橋の形式：吊橋
橋長：1,175m
中央支間長：750m
主塔の高さ：128.5m（海面上）
桁下の高さ：40m以上（海面上）
車線数：2車線と歩道及び管理路

補剛桁架設



直下吊架設



スイング架設

ケーブル架設



張り渡されるケーブルストランド

キャットウォーク

はじめにヘリコプターなどを使ってパイロットロープを張り渡し、これをもとに空中に幅3.8mのキャットウォーク（作業足場）を作ります。そして、工場で作られたストランド（直径約5mmの鋼線を127本束ねて六角形にしたもの）を1本1本張り渡し、これらを52本束ねて主ケーブルができていきます。架設したストランドは、アンカレイジ部で放射状にスプレーし、ケーブルアンカーフレームに一本ずつ定着させます。

主塔架設

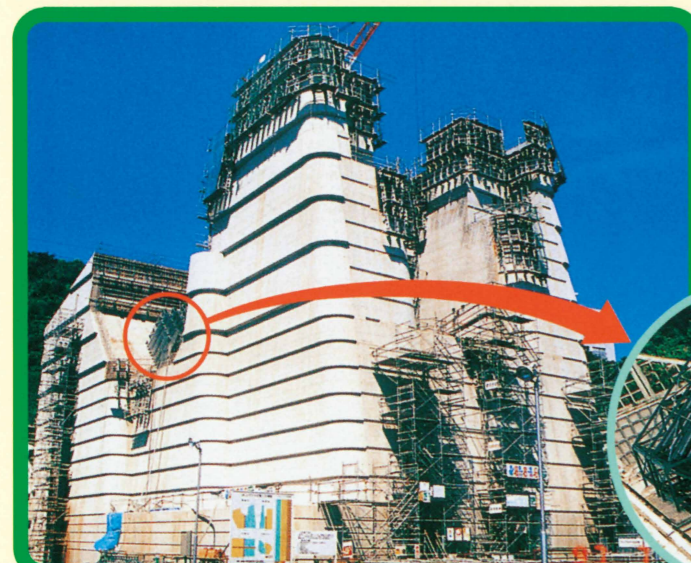


主塔は、工場で作った34個のブロックを台船で運び、クレーンで積み木のように積み上げていきます。積み上げたブロック間は、一般的にはボルトでつなぐのですが、この場合ボルトや継ぎ板が外から見えます。安芸灘大橋では、スマートな主塔の景観を損なわないように溶接でつなぎ合わせています。



ケーブルストランドの定着

アンカレイジ



アンカレイジは、ケーブルをつなぎ止めるケーブルアンカーフレームを埋め込んだ巨大なコンクリートの塊です。1Aと4Aアンカレイジで、それぞれ約3万4千m³、約2万3千m³もの体積がありますが、よるい状の形の外観が威圧感を和らげています。この外形は、付近を航行する船のレーダーに悪影響を出にくくするために施したものです。

ケーブルアンカーフレーム

安芸灘大橋全体工程表

年	S61	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12
調査・計画・設計	[Progress bar]										
準備工事(仮橋設置等)	[Progress bar]										
下部工事	1Aアンカレイジ	[Progress bar]									
	2P主塔基礎	[Progress bar]									
	3P主塔基礎	[Progress bar]									
	4Aアンカレイジ	[Progress bar]									
	2P主塔工事	[Progress bar]									
	3P主塔工事	[Progress bar]									
	ケーブル工事	[Progress bar]									
	補剛桁工事	[Progress bar]									
	上屋工事・取付橋工事	[Progress bar]									
	橋面舗装・電気設備等	[Progress bar]									
	片付工事(仮橋撤去等)	[Progress bar]									
備考	[備考欄]										